

高校生や大学生ら
事業の構想を紹介

東海商工会館所のコンテスト

東海商工会館所が企業活動につながる事業の構想を募った「私の夢プラン」が7日、東海市立商工センターであり、最終発表出場者五人が、白旗のプランを紹介した。

「会員のついで」の一環として、商議所を知ってもらい、地域の活性化を図りたいと、開催された。二回目。一般公募で、高校生や大学生を含む六十八件の応募があった。

優勝者には、マイポトルが使える自動販売機を提案した東海商業高校二年の近藤希美さんが輝いた。審査員特別賞に選ばれた同校二年の山下夢花さんは、スーパリーの買い物で、駐車場の仕方やキャッシュレスを改善し、重い荷物を持たずに車に預ける方法を提案した。学生プラン賞には、星城大三軒の竹内那さんが選ばれた。

東海市中白旗車の販売・



優勝者希美（左）と夢花（右）さん。審査員特別賞の山下さん。東海市中白旗センターで。

修理業を営む戸田泰治さんは、「白旗車の競技員MVAの国際大会を東海市で開催したい」「同市から五輪選手を輩出し、文化として根付かせたい」と提案した。審査員は、商議所役員や中小企業診断士が務めた。

2020年12月13日（日） 中日新聞朝刊（第8面）